

學校通論

八

Y994-J10295



\*1200901349680\*

Kodak Gray Scale

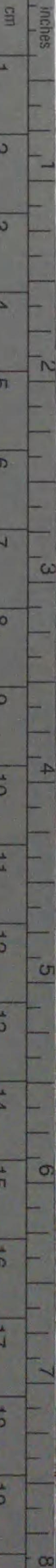
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



© Kodak, 2007 TM: Kodak





Y994

J10295

學校通論卷八

學校通論卷八 其 五 學校之職員

第五節 學校之職員

國家理財之道ヲ論ズル書目不總其製出セシ物下之

ヲ製出スル人トテ併テ論シ又其作為ハ係リテ物ト其

作為セシ人トテ併テ論シ其論說ヲ稱頌宛

全文者不謂可カラス故ニ學校通論ヲ有テ解明ス

ルモ亦此ノ如ク學校全機關ヲ計理シ以テ之ヲ指令

統制スル人及テ其人ノ職務ヲ行ハシ權カヲ得シ原因ヲ

論セザルニ其業ヲ完全ニ盡ス者ト謂フ可カラズ

今此章通論スル所ハ之ヲ分ツテ左ノ三款トス



I 種  
W



\*1200901349680\*



Y994

J10295

今此章第論ハ教師ハ之ヲ公ク之テ去クニシテ  
 論ハ第二其各種ノ學校職員ノ職ハ之ヲ公ク之テ去クニシテ  
 論ハ第三人民ノ學校ニ接際シテ其ノ原因  
 論ハ第四○第一其教師全體ノ地位ハ之ヲ公ク之テ去クニシテ  
 上文各般諸題目ヲ論スル毎ニ必ズ幾許カ教師ノ事ヲ  
 論スルハ之レ故ニ學校ノ設備ヲ論スル章中ニ教師  
 ノ職務ハ其設備ヲ爲スニ在リ其説以テ之ヲ論スル章中ニ  
 師ノ事ヲ載シ又學校ノ編制事業政務ヲ論スル章中ニ  
 モ亦毎ニ教師ノ事ヲ説キ前ノ數章取テ必ズシテモ教師  
 ノ以テ主トセシニ非サルモ毎ニ之ヲ不可缺ク從ト爲  
 以テ記載セサルナク然リ而シテ今此章ニハ專ラ主

トフルニ教師ノ事ヲ以テシ且ツ併セテ其品行ノ人類  
 ノ模範タル可キ旨ヲ論ヒントノ因テ其事ヲ分チ左ノ  
 五件トス

甲 教師ノ意思

乙 教師ノ適任

丙 教師ノ生徒ニ對スル義務

丁 教師ノ其職業ニ對スル義務

戊 教師ノ生業

甲 教師ノ意思○凡ソ上帝ノ吾人ニ委托セシ職務中  
 ニ就キ其最重要ナルハ人類ノ心ヲ教化スルニ若ク者  
 ナレ故ニ農夫工丁商估法律家醫士等ノ職務ノ如キモ



固ト人類社會ノ平安幸福ノ爲メ得テ缺ク可カラサル者ト雖モ其畢竟ヲ論スレハ此等ノ業ハ帝ニ一時現世ノ用ニ供ス可キ者クルニ過キサレハ敢テ教授ノ職務ノ永世不朽ノ生靈ヲシテ死後ノ幸福ヲ受ケシムルニ必要ノ設備ヲ爲ス方法ヲ保含スルカ如キニ非ス而シテ教師ノ職務ノ時ニ貴重ス可キハ實ニ此ノ如クナレハ其職務ヲ行フニハ能ク之レ一堪フ可キ能力アルヲ自カラ己レノ心ニ信レ以テ最清白ノ意思ヲ懷キ其職ニ就クヲ要ス可ク然リ而シテ又更ニ之ヲ言フニ凡ノ人類社會百般ノ需要ニ應スルニハ亦必フ百般ノ職業ヲ要シ而シ此人ハ此業ニ適シ彼人ノ彼業ニ適シ互ニ相同

カヲラフ事雖モ其各種ノ業中ニ就キ直キ奉テ上帝ノ委任ヲ得タル最貴重ノ職務ハ即チ教師ノ業ニ在リトス蓋シ己レノ情慾ニ溺レ鄙陋ノ意思ヲ懷ク入ハ何レノ處タルヲ論ヤス其忌嫌ス可キ言ヲ待タスト雖モ學校ノ業ニ於テハ殊ニ之ヲ忌嫌ス可ク是レ學校ハ幼童ノ性質ヲ教養レ以テ其幼童ノ心中ニ動ク絃線ハ上帝ノ玉坐ニ面シ直チニ震搖スルカ故ナリ  
 今若キ試ニ現今我カ國諸學校ノ教師タル者ヲ呼出シ之ヲシテ其心中ノ主眼又ハ其教授ヲ爲スル旨趣ヲ陳述スルニ以ル時ハ恐クハ其各教師中ニ就キ教師タル可キ者ノ真正注意者可キ義務ノ標度ニ達セシ者ハ極



又テ少ナク過半ハ皆曾テ教授ノ法ヲ學ハス又敢テ教  
 授ノ業ヲ好マズ唯其思欲スル職業ニ就クヲ得又ハ爾  
 餘ノ職業ニ從事不可キ資本ヲ貯フルニ至ル迄一時教  
 師ノ業ヲ行ヒ而テ又然ラザレハ爾餘ノ職業ヲ爲シ以  
 テ折閱セシ者即十例ハ其產ヲ失ヒシ醫士、法律家、僧  
 侶、商估、農夫、工丁等ノ已ムヲ得テ糊口ヲ爲メ學校ノ教  
 師ヲナリ又ハ其氣力材智ノ自カラ乏シキヲ世上ニ隱  
 蔽スル爲メ學校ノ教師トナル者常ニ多キカ故ニ學校  
 ノ教師中ニハ其意ニ背キ復習、鞭撻、罵詈ノ常慣アリ  
 事トスル者アリ或ハ其已ムヲ得ザル職務ノ外ハ敢テ  
 爾餘ノ事業ヲ行ハサル者アリ或ハ毎日其來ルヤ開校

又時期ニ後レ其歸ルヤ開校ノ早キヲ要スル者アリ或  
 ハ學校及ヒ生徒ヲ忌嫌シ俸給交付ノ日ニ至ラザレハ  
 敢テ喜色ヲ形ハサス只管己レノ俸給ヲ増シ在校時間  
 マ短縮シ休暇ノ日數ヲ多クスルノ意ニ其意ヲ留メ爾  
 餘ノ事務ハ敢テ之ヲ顧ミサル者アリ以テ此類ノ教師  
 不爲メ往々教授職業ノ榮譽ヲ汚スニ至レハ隨處良善  
 ノ教師ハ皆一日モ速カニ此類ノ教師ヲ逐フヲ欲シ  
 ル者ナレ故ニ只其冀ス所ハ此類ノ教師ヲ一掃シ以テ  
 良善ノ旨趣ヲ懷ク教師ノ更ニ來リ代ハル可キ日ノ近  
 キニ在ルヲ欲スルノ意ニ其意ニ背キ復習、鞭撻、罵詈  
 然レハ教師ノ已ムヲ得テ快樂ト得利ト二者ヲ其目的ト爲



スカ如キモ又人情ノ已ム可カラサル者タレハ一ニ之  
ヲ非理ト稱ス可キニ非ス殊ニ方今教師ノ俸給ハ之ヲ  
其勞ニ比スレハ特ニ僅々タルヲ常ト爲セハ更ニ其俸  
給ヲ増スヲ促カスカ如キモ亦敢テ咎ム可キノ理ナシ  
然レモ此類ノ目的ハ要スルニ夫ノ生徒ヲ資益レ因テ  
亦普ク人類ヲ資益スル其大主目ト固テ日ヲ同クニ論  
ス可キニ非カレハ試ニ見ヨ世上ノ人類中私欲私利  
ノミヲ謀ル者其過半ニ居ルト雖モ間亦人ノ最モ嗜好  
スル職業ニ就キ以テ毎歲數萬弗ノ俸給ヲ受ケ高臺厦  
屋ニ住スルヲ欲セス通常ノ快樂ヲ棄テ、阿非利加洲  
ノ内地ニ入り蠢愚ノ土人ニ經典ヲ説キ以テ福音ヲ傳

フル者敢テ亦寡ナカラス况ヤ學校教師ノ如キハ之ヲ  
傳教師ニ比スルニ其勞ノ少ナク其憂苦ノ少ナキ固ト  
言ヲ待タサレハ教師ハ學校生徒ノ爲メ其勞ヲ辭セサ  
ル意ノ傳教師ニ讓ラサルヲ要ス可シ因テ思フニ人ノ  
現世ノ生活ニ於ケルヤ真ノ肉欲上ノ幸福ヲ顧ミス富  
貴ヲ羨マス榮譽ヲ好マス誠直清白ニ其業ニ從事スル  
モ敢テ亦爲レ難レト謂フ可キニ非ス然リ而シテ若シ其  
生業ノ此ノ如キ時ハ其天ニ負カス人ニ負カサルヲ自  
カラ己レノ心ニ悟リ以テ常ニ快樂タルヲ得可シ  
又教師タル者ノ大主眼ハ其生徒ヲシテ世上ニ幸福ヲ  
生セシメ且ノ其天ヨリ賦與セラレレ幸福ヲ受ケシム



ルニ適ス可キ様之ヲ教授育養スルニ在ル可シ故ニ人  
ノ教授ノ職業ニ就クヲ決定スルヤ普ク世人ヲ資益ス  
ル旨趣ヲ以テ之レカ主目トナシ以テ其業ニ勵勉スル  
ヲ要トス  
故ニ凡ソ人ヲシテ自カラ己レニ負カシメサルヲ欲ス  
ルヤ其諸般ノ能力ヲ活用スルニ適宜ノ方法ヲ得セシ  
ムルヲ要トシ又其人類社會ニ負カシメサルヲ欲スル  
ヤカメテ世ノ幸福資益ヲ生シ以テ人ヲ愛スル猶己レ  
ヲ愛スルカ如クナラシムルヲ要トシ又其上帝ニ負カ  
シメサルヲ欲スルヤ其心トカトヲ盡シ以テ上帝ヲ敬  
愛セシムルヲ要トス然リ而シテ學校ノ教授ハ人ヲシテ

己レニ負カシメス人類社會ニ負カシメス上帝ニ負カ  
シメサルヲ其主眼ト爲セハ特ニ尊重ス可キ一事業ニ  
屬シ而シテ誠實ニ己レノ義務ヲ盡ス教師ノ如キハ實ニ  
人類ニ資益スルノ最タル者トス  
乙 教師ノ適任 ○教師ノ適任ノ一事ハ前文既ニ其間  
接ノ者ニ就キ數回之ヲ論セシト雖モ更ニ又此ニ其順  
序ヲ整齊シ此一事ヲ論究スルヲ要トス因テ其條目ヲ  
分チ左ノ四箇ト爲シ次ヲ逐々之ヲ論ス可シ

- 第一 教師ノ身體上ノ適任
- 第二 教師ノ智心上ノ適任
- 第三 教師ノ脩身止ノ適任



第四 教師ノ職業上ノ適任

第一 教師ノ身體上ノ適任。○身體ノ虛弱ニシテ屢病ニ罹ル人ノ教師ノ職ニ任スルヲ求ムル者アルハ敢テ稀ナラサレドモ是レ其大ナル誤タレハ凡ソ教師タル者ニ常ニ其身體ノ壯康守ルヲ要ナス蓋シ教師ノ學校ニ於ケル心神ノ勞苦ハ其身體ノ健康強壯ナルニ非サレハ能ク之ニ耐キ可キニ非ス又教師ノ學校ヲ理治統括スルニ必要ナル活潑ノ氣質ハ其心神ノ痛苦ニ困阻セラルル者ノ之ヲ有スルハ頗ル稀有ニ屬スルカ故ニ其身體ノ壯健ナラサル者ハ己レヲ爲メ及ヒ其生徒ヲ爲メ教授ノ業ヲ棄テテ爾餘ノ業ニ就クヲ求ム可レ

又教師ノ教授ノ業ヲ始ムルニ當リ其身體ノ壯健ナル時ノ其後常ニ養生法ニ着意シ以テ其健康ヲ害セサルヲ要トス

教師ハ勞苦ニ管スル養生法ヲ遵守セサル可カラズ因テ今之ヲ言フニ凡ソ人ノ其心神ヲ勞苦スルハ一ニ必ス其健康ヲ害ス可シト謂フニ非サレドモ毎日八時間學校室内ニ於テ勉勵シ且ツ更ニ八時間學校室外ニ於テ勉勵シ常ニ之ヲ爲シテ止マサル時ハ縱令如何ナル人ト雖モ必ス其健康ヲ害スルニ疑ナシ故ニ勞苦勉強ノ時期ト運動散聲ノ時期トハ交之ヲ互換スルヲ最良トス



又教師ハ運動ニ管スル養生法ヲ遵守セサル可カラス  
 因テ又之ヲ言フニ人ノ體ト心ノ二者ハ其管係頗ル親  
 密ノ者タレハ若シ體ヲ適宜ニ運動セサル時ハ心モ亦  
 永ク其職務ニ堪フル能ハサル可シ故ニ教師ハ生徒ト  
 共ニ打球投球ノ遊戲ヲ爲シ或ハ散步漕船馬車ノ遊行  
 滑超游泳乘馬ノ要樂又ハ木ヲ鋸キ又ハ園圃ニ勞動シ  
 又ハ耕耨製作ノ業ニ從事スル等皆己レノ意ニ任カス  
 可ク因テ思フニ凡ソ教師タル者ハ常ニ必ス或事ヲ爲  
 シ以テ身體ヲ運動セシメサル可カラスハ若シ一  
 運動法アラサル時ノ如キハ體操術ノ器具ヲ用ヒ以テ  
 運動ヲ爲スノ必要ト爲セズ斯ク其身一人ニテ運動ヲ

爲スハ頗ル爽快ヲ缺キ敢テ其歡樂ヲ得可キニ非ス蓋  
 シ教師ノ其身體ヲ運動セシメス以テ教授ヲ爲スノ難  
 キハ猶人ノ飲食セズ以テ生存スル能ハサルカ如ク然  
 リ而シテ亦運動飲食ノ二者ハ共ニ同シク規則ヲ定メ以  
 テ之ヲ爲スヲ要トス  
 又教師ハ大氣ニ管スル養生法ヲ遵守セサル可カラス  
 因テ又之ヲ言フニ凡ソ教師ハ學校室内ニ大氣ノ流通  
 フ善ナラシメ以テ清潔新鮮ノ大氣中ニ於テ勉勵運動  
 睡眠等ノ諸事ヲ爲ス可ク故ニ之ヲ要スルニ窓牖ヲ開  
 キシ害ハ戸扉ヲ閉塞シテ毒氣ヲ帶ヒシ大氣ヲ呼吸ス  
 ル害ニ比スレハ更ニ小ナリトス



又教師ハ飲食ニ管スル養生法ヲ遵守セサル可カラス  
 因テ又之レヲ言フニ凡ソ教師ノ食物ハ養生法ニ適シ  
 テ消化スルニ易ク且ソ精分ノ強キニ過キス心神ヲ激  
 動スルノ甚シカラサル物ヲ良トシ而メ之ヲ喫スルニ  
 モ亦其時期ヲ定メ其分量モ亦各人ノ適宜タルヲ要ス  
 可ク而メ又教師ハ己レ一身ノ爲メト生徒ノ爲メトヲ  
 問ハス酒類及ヒ烟草ヲ用フルヲ禁ス可シ  
 又教師ハ睡眠ニ管スル養生法ヲ遵守セサル可カラズ  
 因テ又之レヲ言フニ凡ソ如何ナル職業ト雖モ其心神  
 ヲ勞スルノ甚ダシキハ教授ノ業ニ若ク者ナシ故ニ教  
 師ハ其生徒ヲ教授スル爲メノ心勞ヲ在校時間ニ限ル

歟又然ラセバモ其睡眠ノ際全ク其心勞ヲ免カルニ  
 非リレハ如何ニ壯健ノ身體ト雖モ永ク其勞ニ堪フル  
 能ハスル可レ因テ思フニ凡ソ教師ノ毎夜六時若クハ  
 八時間睡眠スル時ハ縱令教授ノ業ニ勉勵スルモ必ス  
 レモ其健康ヲ害スルノ恐ヒアルニ非サレバ若シ其睡  
 眠時間不足ラステ勞ニ堪フル能ハサル時ハ僅カニ  
 三年間ハ縱令其活力ノ減スルヲ覺エサルモ其齡ノ四  
 十歳ニ至ルニ及ハ、頗ル老衰シ五十歳ニ至ル時ハ或  
 ハ死亡スルノ恐テリ  
 又教師ハ散鬱ニ管スル養生法ヲ遵守セサル可カラズ  
 因テ又之ヲ言フニ凡ソ教師ハ其憂鬱ヲ散レ以テ快樂



ヲ得サレ可カラス然リ而シテ教師ハ必ズ散鬱取樂ヲ爲  
ス可キハ敢テ其湯ニ入ト交ハリ以テ輕浮ノ遊戯ヲ爲  
シ又ハ舖店酒肆ニ至リ以テ放蕩ノ人ト相接シ徒ラニ  
光陰ヲ消費ス可キヲ言ハニ非スト雖モ教師ノ業ハ終  
日學校室内ニ引籠リ間斷ナク其心カヲ勞シ而シ其思  
望スル所ノ如クナル能ハサルト常ニ數回ニ及ハハ毎  
ニ其心神ヲ爽快ナシニ且ツ其鬱ヲ散ス可キノ必要  
ナル敢テ爾餘ノ職業ニ從事スル者ノ比ニ非ズ故ニ教  
師ハ一日ノ業ヲ終リタル後ハ其家ニ歸リ或ハ妻子ト  
談話シ或ハ其讀書奏樂ヲ聽キ或ハ其滑稽ノ遊戯ヲ見  
テ已レノ心ヲ樂マシメ又ハ己レト其情ヲ同ウスル親

友ト相會ト以テ身體ノ健康ニ補益アリ散鬱ノ方ヲ求  
ム可レ

第二 教師ノ智心上ノ適任○教師ハ其教授セント爲  
ス學科ヲ遺漏ナク詳細ニ知得スルヲ要トシ而シ其智  
識ハ獨リ僅カニ學校讀本中ニ記スレ事柄ノミニ限ル  
可キニ非ス更ニ博ク爾餘ノ事柄ニ涉ラサル可カラス  
然ルニ若シ此智識ヲ缺ク時ハ其教授ヲ完全ナラシム  
ル能ハス以テ生徒ヲシテ己レノ能力ヲ信賴セザラシ  
ムルニ至ル可ク是レ一學科ノ全部ヲ通曉スル者ハ之  
レカ一部分ヲ教授スルニ其巧ミナル僅カニ唯其一部  
ノミヲ知得スル者ニ優ルニ因ル



又教師ハ其現ニ教授スル學科外ノ學科ニモ亦涉ルヲ  
要トス而シテ若シ然ラサル時ハ其教授ノ實効ヲ得セシ  
ムル能ハサル例ヘハ猶代數學ヲ知ラサレハ善ク算術  
ヲ教ユル能ハス歴史ヲ知ラサレハ善ク地理學ヲ教ユ  
ル能ハス善論學明理學ヲ知ラサレハ善ク文法ヲ教ユ  
ル能ハサルカ如ク然リ而シテ又更ニ之ヲ言フニ凡ソ體  
理ノ學ヲ知ラサル教師ハ之レニ委スルニ學校統制ノ  
職ヲ以テス可カラズ又性理ノ學ニ原カサル教授ハ其  
畢竟ヲ要スルニ唯其臆測ノ業タルニ過キサレハ縱令  
如何ニ下等ノ學校ニ於ケル教師ト雖モ此等ノ學科ヲ  
知ラサル可カラズ故ニ教師タル者ハ其學識ハ如何ニ

博キモ決レテ博キニ過クルノ患ナケレハ碩學鴻儒モ  
兒童ノ夥伴トナリ兒童ト其感情ヲ同ウシ以テ之ヲ教  
エテ其心ヲ歡ハシム可ク故ニ最簡易ナル學識モ碩學  
大儒ノ力ニ依リ因テ以テ人間ノ智環ヲ完全ヲラシム  
又教師ハ總テ目下世上ニ生スル諸般ノ事ヲ知得ス可  
ク因テ今之ヲ言フニ蓋シ方今ハ人文進歩ノ時世タレ  
ハ僧侶ヲ以テ學校ノ教師ト爲ス可キニ非ス又書籍堆  
中ニ首ヲ埋ムル腐儒幽鬱閑散ヲ好ム隱者ヲ以テ教師  
ト爲ス可キニ非ス教師タル者ハ常ニ世上諸般ノ事ヲ  
視テ縱令自カラ人間社會ノ大演劇場ニ參セサルモ常  
ニ之レニ留意スルヲ要トス然ルニ若シ教師タル者目



下ノ時勢ヲ知ラサル時ハ其教授ヲシテ現時ノ需要ニ  
 應セシムルヲ得サル可ク又世上諸般ノ事ヲ類授シ以  
 テ其教授ヲ生徒ノ心ニ感セシムルヲ得サル可シ而  
 又教師タル者ハ現ニ自カラ希臘或ハ羅馬ニ居ルニ非  
 ス常ニ此米國ニ在レハ昔時ニ於ケル希臘兩國ノ内亂  
 ト日ヲ同ウシテ論ス可カラサル大爭競中ニ生存スル  
 ヲ忘ル可カラサルナリ  
 又教師ハ其心神ノ統制ヲ全カラシムルヲ要トス因テ  
 今之ヲ言フニ凡ソ教師ハ其學識ヲ具フルノ重要ナル  
 固ト言ヲ待タサレズ之ヲ知ル方法ノ重要ナルハ更ニ  
 其右ニ出ツ故ニ縱令其學識ヲ具フルモ之ヲ知ルノ錯

雜混亂レテ敢テ整齊セシ者アラサルカ如キハ到底教  
 師トナリ以テ其實效ヲ得ル能ハス蓋シ教師ハ善ク已  
 レノ心ヲ統制スルニ非サレハ敢テ生徒ノ心ヲ統制シ  
 得可キニ非サレハ其心ヲ統制スルハ教授ノ業ニ缺ク  
 可カラサル者タリ  
 又教師ハ已レノ有スル學識ヲシテ教授ノ爲メ裨益ヲ  
 ラシムルヲ要トス可ク然リ而メ又之レカ爲メニハ其  
 教授ス可キ事柄ヲ自カラ瞭然明晰ニ了解セサル可カ  
 ラス蓋シ人ハ僅カニ一學科ノ一端ノミヲ窺ヒ得テ自  
 カラ全ク之ヲ了解セシヲ思フ者間少ナカラサレモ若  
 シ此ノ如キ人ノ教師ノ職ニ就キ以テ生徒ニ教ユル時



ハ恰モ盲人ノ盲人ヲ導クカ如クタル可ク而モ又教師  
ノ學識ヲシテ其教授ノ爲メ裨益ヲ生ゼシムルニハ其  
學識ヲ人ニ傳フルノ才能アルヲ要トス故ニ若シ教師  
タル者其有スル學識ノ人ニ傳フル能ハス或ハ適當ナ  
ラサル言詞ヲ用ヒ誤謬多キ文ヲ綴リ或ハ頗僻ノ評論  
ヲ爲スニ慣ル、時ハ到底生徒ヲシテ其學識ヲ貴ムノ  
情ヲ發動セシムルヲ得サル可シ是レ教師タル者ノ談  
話ニ巧ミナルヲ要スル所以ナリ  
又教師ハ其學校ヲ統制理治スルノ才能ヲ有ス可ク而  
又之レカ爲メニハ方法ヲ主眼ニ適應セシムルニ巧ミ  
ニ且ソ人ノ性情ヲ審カニシ道理ニ通曉スルヲ要トス

然ルニ方今ノ教師中ニハ其教授ハ縱令之ヲ爲シ得ル  
モ學校ヲ統制理治スルハ之ヲ能クセサル者常ニ多キ  
ニ居レハ統制理治ノ之ヲ教授ニ比スレハ更ニ其難キ  
ヲ見ルニ足ル可シ

第三 教師ノ脩身上ノ適任○此ニ今教師タル者ノ其  
職業ニ就キ實効ヲ得ルカ爲メ具有セサル可カラサル  
性質ヲ汎然唯記載スルカ如キハ取テ難キニ非サレモ  
若レ其區別ヲ立テ此等ノ性質ノ種類ヲ分タレト爲ス  
時ハ頗ル其困難ナルヲ悟ル可シ然レモ凡ソ教師タル  
者ニ此事ヲ瞭然分明ナラシムル爲メ此ニ譬喩ヲ用ヒ  
其種類ヲ分ツ時ハ教師ノ具用ス可キ性質中ノ重要ナ



其者誠知ラシク且其的例以示スノ便益アリ事因  
其其必須ナル性質ヲ左ニ記載スルハ此ニ學命ヲ用テ  
抑々其其穎敏ナル立法者アリ然レバ其ニ學命ヲ用テ  
去ク其國正直ナル裁判者ニ對シテ其ニ學命ヲ用テ  
抑々其其敏捷速捷ナル行法者ニ對シテ其ニ學命ヲ用テ  
抑々其其勤勉ヲ勞働者ニ對シテ其ニ學命ヲ用テ  
抑々其其學問適當ナル首長トシテ其ニ學命ヲ用テ  
抑々其其只寛裕ナル黨者ニ對シテ其ニ學命ヲ用テ  
抑々其其爽快ナル夥伴ニ對シテ其ニ學命ヲ用テ  
抑々其其懇親ナル朋友ニ對シテ其ニ學命ヲ用テ  
抑々其其良善ナル人物ニ對シテ其ニ學命ヲ用テ

教師ハ穎敏ナル立法者タル可キヲ論ス○此ニ今穎敏  
ナル立法者ト稱スルハ其學校ヲ統括管理スルニ適當  
ノ法ヲ設ケ得可キ者ノミヲ指言スルニ非ス因テ思フ  
ニ蓋シ此類ノ才能ハ固ト教師ノ爲メ必須ノ者ト雖モ  
其他又更ニ善道ニ適スル數種ノ性質ノ必須トス故ニ  
學校ニ於ケル立法ノ事業ハ僅カニ唯嚴密精確ノ法律  
ヲ立テ學校ノ機關ヲ整頓スルノミニ止マラス其立法  
ノ目的ナルニ備身教授ノ大主眼ニ向ハシム可ク又學  
校ノ律法ハ獨リ僅カニ學校ヲ靖寧ナラシムルノミナ  
ラス兼テ亦學校生徒ノ品行ヲ良善カラシムルニ注意  
ス可シ此ニ由テ之ヲ觀ルハ教師ノ學校生徒ニ歡娛ヲ







宜シキヲ得サル時ハ徒法ニ屬シテ兇惡ノ徒ヲ制ス可  
 キニ非ス然リ而テ教師ノ學校ヲ管理スルヤ其圖計ヲ  
 執行セサル可カラズ犯罪者ヲ懲罰セサル可カラズ學  
 校機關ノ作為ヲ統制セサル可カラザレハ教師ノ事ヲ  
 行ハニ捷敏ヲ要フルハ譬ヘハ猶風波ニ遭フ船ハ捷敏  
 ナル船長ヲ要シ戰場ニ臨ム兵ハ捷敏ナル將帥ヲ要ス  
 ルカ如ク學校ニ於テハ常ニ捷敏ナル教師ヲ要シ而シテ  
 又教師タル者ハ敢テ危險ヲ恐レヌ剛志ヲ懷キ以テ恃  
 己ノ念ヲ失ハス常ニ其處置ノ條理ニ適シテ如何ニ困  
 難ノ事アルモ之レニ克ツ可キ能力アルヲ要トス  
 教師ハ黽勉ナル勞動者タル可キヲ論ス○教師ノ職ハ

學校ノ法律ヲ立テ且ツ之ヲ適用施行ヲ可キヲ止  
 マラス其教授ノ主眼ヲ達スル爲メ常ニ黽勉セサル可  
 カラズ且ハ其衷心ヨリ眞ニ黽勉スルヲ欲シ且ツ其現  
 ニ黽勉シ得可キヲ緊要ト不然ルニ若シ教師ノ黽勉ス  
 ルヲ欲セサル時ハ學校ノ事業ノ止メサル可カラズ又  
 其黽勉シ得サル時ハ得テ其事業ヲ効テ生セシム可キ  
 ニ非サレハ凡ク事ヲ爲スニ遲緩懶惰ニシテ感覺ニ鈍  
 キ者ハ教師ノ任ニ適セサル可ク而シテ又教師タル者ハ  
 人類ノ模範トナリ生徒ヲシテ其模範ニ倣ハシム可キ  
 力故ニ苟モ其職任ニ適スルニハ如何ナル事業ヲ爲ス  
 可キヤ又如何ナル方法ヲ以テ其事業ヲ爲ス可キヤ之



之知ルニ巧ニ且以其巧妙ノ實効ヲ得セシムル爲メ  
 懇切ニ勉勞スルヲ要ス可シ蓋シ教師ハ己レノ勞動ニ  
 因リ以テ能ク其生徒ノ心ヲ感セシムルヲ得可キハ故  
 ニ其勞動ヲ爲スニ巧ニナル時ハ生徒ヲ感テ之レニ倣  
 ハシムルヲ得可シト雖モ若シ其勞動ヲ以テ實効ヲ生  
 セシムル能ハサル時ハ生徒モ亦敢テ其業ニ進ム能ハ  
 サル可シト  
 教師ハ適當ナル首長タル可キヲ論ス○凡ソ適當ナル  
 首長ハ具有ス可キ重要ノ性質ハ氣力堅執剛毅志望特  
 己熱心等ニ在テ真ハ教師タル可キ者ハ必ス此等ノ性  
 質ヲ具有セシムル可カラズ故ニ今之ヲ言フニ蓋シ學校

ノ事業ハカヲ盡クシ勉勵スルニ非サレハ得テ之ヲ成  
 就ス可キニ非ス故ニ氣力ニ乏レキ人ハ教師タルニ適  
 セス又其事業ノ障碍ハ剽輕薄弱ナル者ノ得テ之ヲ排  
 除ス可キニ非サレハ堅執ノ心ニ乏レキ人ハ教師タル  
 ニ適セス又其事業ハ間人ノ剛志ヲ試ム可キ危事ノ起  
 來スルアリテ怯懦ノ者ハ其危事ニ克ツテ得可キニ非  
 サレハ怯懦ノ人ハ教師タルニ適セス又教師タル者ノ  
 若シ失望鬱憂スル時ハ其生徒ノ氣力ヲ阻害スルカ故  
 ニ失望鬱憂ノ癖アル者ハ教師タルニ適セス又自カラ  
 己レヲ恃マサル者ハ亦敢テ人ノシテ己レヲ信セシム  
 可キニ非サレハ恃己ノ念ナキ者ハ教師タルニ適セス



又智識ヲ貴ミ誠意ヲ以テ其智識ヲ得ルヲ欲スルニハ  
 熱心ヲ具有スルヲ要スルカ故ニ粘液質ノ感滯ニ鈍キ  
 者ハ教師タルニ適セサル可シ蓋シ入ル間其性質ニ因  
 リ生レナカラ他人ヲ敬服セシメ以テ自カヲ衆ヲ指揮  
 スルノ能力アル者アリ或ハ僅カ一面ノ交刺ニ因リ他  
 人ノ愛好ヲ得テ其感情ヲ同感セシムルノ能力アル者  
 アリ然リ而又人ハ國家ノ執權兵馬并都督政令事改革  
 者學校ノ教師タルヲ問ハス能ク其業ヲ成就スルニハ  
 此二質ヲ兼テ有スルヲ要トス  
 教師ハ寛裕ナル黨者タル可キヲ論ス○學校ハ恰モ一  
 小世界ノ如クナレハ學校ニ於テ黨派ノ争アルハ猶一

國ニ於テ黨派ノ争アルト取テ異ナルナレ故ニ動キス  
 レハ生徒ノ數黨ニ分レ相頡頏争鬪スルノ恐アレハ教  
 師ハ成ル可キ丈其頡頏争鬪ニ管スルヲ避クルヲ可ト  
 スレトモ若シ已ムヲ得ス已レノ説ヲ發シ或ハ已レノ志  
 ヲ吐露セサル可カラサルニ至ルトアラハ其反對ノ黨  
 者ニ對シ極メニ寛裕ノ意ヲ懷クヲ尚フ可シ而シ又教  
 師ハ政體若クハ法教ノ事ニ付キ斷然一箇ノ論説ヲ主  
 持スルモ取テ不可ナルニ非サレトモ生徒ノ父兄ハ必ス  
 之レト其論説ヲ異ニスル者多キカ故ニ教師ハ極メテ  
 洪量寛裕ナルヲ要ス可ク若シ然ラサレハ其職業ヲ成  
 就スルヲ能ハサル可シ故ニ公立學校ノ教師ノ若シ己



學林文語

ルノ黨派ニ對スル務メヲ先キニシテ生徒ニ對スル務ヲ  
後ニスルカ如キハ自カラ其職ヲ辭スルニ非サレハ必  
ラス其職ヲ退ケラル可シ蓋シ教師ハ頑拗ノ癖ナク、酷  
烈輕卒ヲ失ナク、一論ノ起ル毎ニ必ス審カニ其當否ヲ  
熟考セシレニ抗論スル輩ヲレテ其洪量ニ感モシム可  
ク又教師ノ生徒間ニ起リシ爭論ヲ裁決ス可キ時ハ能  
ク耐忍シテ雙方ノ陳述スル諸事ヲ聽キ取り然ル後ニ  
確證ニ據テ公正ニ決ヲ爲ス可シ  
教師ハ爽快ナル夥伴タル可キヲ論ス○生徒ノ學習念  
ヲ鼓動スル者ハ必スモ獨リ其真ニ學習ヲ好ムノ念  
ヲシテ限ラス又學校ヲシテ整齊ナラシムル者ハ必スモ

シテ獨リ其嚴密ナル規則ノニ限ラス生徒ノ教師ヲ  
敬スル念ヲ最モ必要ト爲ヤハ教師ノ其業ヲ成就スル  
ハ大ニ其交際上ノ性質ニ管スル者タリ故ニ教師ノ生  
徒ニ敬愛セララル、ニハ爽快ナル夥伴タルヲ要トス蓋  
シ學習休憩ノ時間ニ於テハ教師親レク其生徒ト其ニ  
談話スルヲ得レハ教師ハ其機會ニ乘シカノテ學校ニ  
裨益スルヲ思ハサル可カラサレハ休憩ノ時間ニ於テ  
ハ教師腹藏ナク生徒ト談話シ生徒ヲシテ恰モ己レノ  
家ニ在テ其父母ト親話スルカ如キ意ヲ生セシメ且ソ  
然ノミナラス教師ト談話スルヲ好ムニ至ラシム可ク  
故ニ教師其威儼ヲ失ハス鄙陋ニ失セサル限内ハカメ



テ爽快活潑ニ生徒ト談話レ且ソ然ノミナラス之レト  
 共ニ遊戯滑稽ヲ爲スヲ可トス然ル時ハ平常生徒ニ接  
 スルヲ忌ミ、嚴格ニ禮儀ヲ守リ以テ交宜ヲ失フ教師ニ  
 比スレハ其教導ノ實効ヲ生スル實ニ許多ナル可ク而  
 メ又凡ソ教師タル者ハ其職務ヲ行フ際ト雖モ其氣質  
 ハ常ニ活潑、其風容ハ毫モ包藏ノ微ナク常ニ生徒ノ裨  
 益ヲ先キニシ己レ一身ノ裨益ヲ後ニスルヲ思フ可ク  
 然ル時ハ縱令生徒ノ願情ヲ拒ミ其過失ヲ罰スルモ敢  
 テ不親ノ怨ヲ其心中ニ存ヤシムルニ至ラサル可シト  
 教師ハ懇親ナル朋友タル可キヲ論ス○狎昵スルト友  
 愛スルトノ二者ハ計カラ相異ナレハ教師ハ常ニ爽快

ナル夥伴タル可キハ人ナク又懇親ナル朋友必ラナ  
 ル可キヲ是レ教師ハ其教養ル所ニ生徒ヲ愛スル  
 ニ非サレハ善ク之レヲ教授スル能ハサルニ因ル因テ  
 思フニ凡ソ兒童ノ天質タルヤ能カク其友ヲ擇ムニ誤  
 ナク或人ハ怨チ之ヲ友愛シ或人ハ直チニ之ヲ忌嫌ス  
 ル者タレハ其友愛タル教師ハ慎ク之ヲ愛シ可ク  
 又凡ソ兒童ハ我レヨリ之ヲ愛セサルハ彼亦我ヲ愛セ  
 サル世上一般皆然ル者ト雖モ就中學校ノ如クハ殊ニ  
 然ルカ故ニ兒童ハ固ク其愛セサル教師ニ就キ學習知  
 ルヲ好マズ縱令或ク學習スルニ其益少キ者トモ故  
 ニ學校ノ景況ノ現ニ然ル時ハ智力ノ成長ハ極小ニ枯



康チテス善心ノ成長ハ全ク止マレニ至ル可ク然リ而  
 ヲ又凡ソ朋友タル者ハ真ニ其友愛スル者ハ補益ヲ思  
 ヲ其幸福ヲ希圖スルハ恰モ己レノ幸福一於ケルト同  
 シク常ニ之ヲ保護防衛シ而シテ幸福ヲ得可キ時ハ其言  
 ヲ以テ之レヲ勵マシ困厄ニ陥ル時ハ其手ヲ以テ之  
 ヲ救テ可キカ故ニ教師ハ生徒ト相友愛シテ其歡心ヲ  
 得シトスルニハ生徒ニ對シテ右ノ諸事ヲ盡クサシ  
 可カラズ此ニ由テ之ヲ觀レハ諸學校ノ教師ヲシテ夫  
 ノ高名ナル詩ニ  
 其教ユル各處ニ於テ職業ニ留意スルハ懇切  
 ヲ極メ其模範ノカハ恰モ磁石ノ力ノ如ク己

ヲレヲ親愛スル諸人ヲシテ速カニ皆其模範  
 ト言フカ如キ景狀ニ至ラシムル日ノ速カニ來ル可キ  
 ハ余カ切ニ冀望スル所ナリ  
 教師ハ良善ナル人物タル可キヲ論ス○凡ソ如何ナル  
 人タルヲ問ハス良善タル可キハ敢テ言ヲ待タサレ氏  
 即カラ其地位ニ因リ人ヲシテ己レノ善惡ニ模擬セシ  
 ムル其管係ノ極メテ重大ナル者アリ而シテ學校教師ハ  
 如キハ即チ其中ノ一タレハ常ニ兒童ニ其品行ヲ模擬  
 トラレ其未熟ノ心ヲシテ己レノ軌範ニ從ヒ或ハ善  
 入り或ハ惡ニ移ラレハ試ニ問フ夫ノ無辜清白



ナル兒童ノ心ハ世上故意ヲ以テ之ヲ汚害スルニ忍ビ  
者アリキ而シテ又畫圖ノ如キハ之ヲ破ルモ更ニ復タ畫  
クテ得、位像ノ如キハ之ヲ毀シモ更ニ復タ彫スルヲ得、  
國政家ノ過失ノ如キハ法ヲ設ケ以テ之ヲ改ムルヲ得、  
下等裁判所ノ失誤ノ如キハ上等裁判所アリ以テ之ヲ  
改ムルヲ得、醫師ノ過失ノ如キモ人ヲ身命ヲ死傷セシ  
ムルニ止マリ、説教ノ失誤ノ如キモ敢テ成熟ノ心ヲ盡  
惑スルニ至ラザレバ教導ノ過チノ兒童ノ心ヲ汚害ス  
ル言至ル時ハ如何シテ以テ復タ之ヲ清白ナラシムル  
ヲ得ルヤ教師ノ過ハ如何ナル法律ヲ設ケ以テ之ヲ改  
ムルヲ得ルヤト故ニ心神ノ死朽ハ之ヲ形骸ノ死朽ニ

比スレハ其慨歎不可キ實ニ甚シキ者トス可ク然リ而  
シテ凡ソ大人ノ成熟セシ心ハ既ニ諸事ヲ考慮スルカ  
レハ縱今騙欺スル者アルモ其恐較、少ナレト雖モ無辜  
清白ナル兒童ノ心ヲ汚害スル者ハ其邪惡ノ真ニ惡ム  
可ク敢テ大人ノ心ヲ騙欺セシカ比ニ非ス此ニ由テ之  
ヲ觀レハ教師ハ其風容ニ於ケルモ、學識ニ於ケルモ品  
行ニ於ケルモ其ニ皆人類ノ模範タル可ク且ツ其誠意  
ヨリ上帝ヲ敬信シ勸善ノ義務ヲ盡クシ以テ耶蘇ノ教  
ヲ導奉ス可シ故ニ教師タル者ハ宜シク常ニ左ノ詩句  
ヲ其心ニ銘スヘシ  
汝若シ真理ヲ教ユルヲ欲セハ汝自カテ真ナ

徳教通論 卷八 三



ル可ク、汝若シ人ノ心神ヲ感觸スルヲ欲セハ  
 其汝ノ心神ヲ滿盈セシム可ク、汝若シ其唇舌ノ  
 學充分ニ談話スルヲ欲セハ汝ノ心情ヲ滿盈セ  
 シム可シ、汝若シ其果ヲ結ハシム可ク、汝若シ眞  
 誠ニ生活セハ汝カ生活ヲシテ盛大貴重ノ信  
 條夕列シム可シ、

第四 教師ノ職業上ノ適任○凡ソ教師タルノ適任ハ  
 人ノ生レナカラ天ヨリ畜授セラレ、所ニ係リ學テ以

テ能ス可キニ非ス故ニ教授法ノ大則ハ之ヲ整頓齊正  
 スルニ因リ以テ學習ヲ得ルニ至ル可キハ猶法律學又  
 ハ醫學ノ大則ニ於ケルカ如ク敢テ異ナルニ非サレ、凡  
 苟モ人ヲシテ眞ニ能ク教師タル職務ヲ成就セシムル  
 ニハ幾許カ生レテ其適當ノ性質ヲ具有セザル可  
 カラス此ニ由テ之ヲ觀シテ教授ノ方法ヲ學ブ時ハ幾  
 許カ人ノ才能ヲ增益スルヲ得可シト雖モ其才能ハ到  
 底新ク創造リ出スヲ得可キニ非サレハ教師タル者ハ  
 天性其教授ニ巧キヲ要スル而シテ其適任ハ天性ニ  
 出ル時ハ爾餘職業上ノ適任ハ容易ク之ヲ達スルヲ  
 得可ク故ニ若シ其天畀ノ適任ヲサレ時ハ其教授ノ



業ヲ成就レ得可クハ大ナルモ必セリヤハ其精妙  
 又教師ハ上ニ記スルカ如ク縱令天性教授ヲ爲スニ長  
 才能力アリト雖モ亦其才能ニ原キ以テ其必要則爲  
 不可キ職業上適任ノ條件アリ因テ其適任ノ條件中最  
 重要ノ者ヲ掲グル大凡ソ左ノ如シ  
 甲 教師ノ事業ヲ正シテ了知スル事  
 乙 身體及ヒ精神ニ管スル人類ノ本質ヲ詳カ  
 丙 教導ニ用フ可キ材料ヲ明カニ知得テル事  
 丁 教授ノ方法ヲ詳カニ了知スル事  
 戊 學校ヲ管理統括スルニ巧ミナル事

己 業學校ノ事業ニ用フル己ノ諸力ヲ充分ニ  
 統制スル事  
 教師ハ己ノ事業ヲ正シテ了知ス可キヲ論ス○抑教  
 師ノ業者トシテ人類ノ教育シテ其身體ト心神ト兵者  
 カニ完全クヲ成ルニ在リ凡ソ人類ノ職務中ニ就  
 キ最重要最困難ノ者ト謂フ可シ然レ而シテ人類外凡  
 ソ上帝ノ創造セル萬物中最後ニ創造ニ係ル者ニ  
 上帝ノ靈巧ナル事業中絶妙ノ極ムル取テ之レニ過ク  
 ル者ナズル可ク而シテ人類ト獸類ト別テ判然明白ナ  
 ラレムル即チ其心ニ在テ教師ノ職ニ主トシテ其心  
 ヲ教修改良スルニ在リ是ト詩ニ



地球に果して人類を以て最大ノモノト爲サ  
 以て人類に在る亦其心神を以て最大ノモノト爲サ  
 其心神を以て最大ノモノト爲サ  
 所謂所以ナリ事常中絶セ。雖ハ其心神を以て最大ノモノト爲サ  
 此ニ由テ之ヲ觀レバ教師ノ事業ノ實ニ盛大ヲ極メ而  
 ヲ其要旨ハ人心ヲ教修シ永遠不朽ノ者ヲ教化ス  
 ルニ在リ神使ト雖モ想テ其恐クハ此大業ヲ成就シ得  
 可キヤ否ヲ虞慮ス可ク況ヤ此微々タル人類ニ於テ其  
 事業ノ種質ヨリ其重要ノ模様ニ至ル迄舉ケテ皆之ヲ  
 了知セント欲スルニハ畢生ノ力ヲ極メ勉強スルニ非  
 サレハ其業ヲ成就シ得ル能ハサル分明ナリ故ニ無識

タル教師ノ人類ノ貴重ス可キヲ知ラス又其心神ノ  
 ノ完全ノ者タル景狀ヲ想像スルヲ得ス且ツ人類ノ命  
 運ヲ悟ラス以テ上帝ノ人類ニ賦與セシ其貴キ材力ヲ  
 啟發セシト欲スルハ譬ハ猶拙陋ナル石工ノ其心中  
 ニ雅味ヲ知ラスレテ夫ノ高名ナルウエニユス或ハ希  
 臘國奴隸ノ像ニ類似セシ彫刻物ヲ造ラント欲スルカ  
 如ク其非理ノ志望ヲ達スル能ハサルハ明カナリ  
 教師ハ身體及ヒ精神上ニ管スル人類ノ本質ヲ審カニ  
 子知ス可キヲ論ス○醫士ノ其職業ニ熟達スル爲メ詳  
 カニ人ノ身體ヲ考究スルヲ要スルカ如ク教師モ亦其  
 職業ヲ成就スルニハ身體及ヒ精神上ニ管スル人類ノ



本質ヲ考究スルヲ要トス夫ノ高名ナル者トシテ氏言  
 曰ク凡ソ人類ノ考究ス可キ者ハ即チ亦人類タリト  
 而シテ教師タル者ハ殊ニ人類ノ本質ヲ審カニ考究セザ  
 ル可カラサルハ若シ其考究ヲ缺ク時ハ諸般ノ教授モ  
 亦皆僅カニ臆測タルニ過キサル可シ故ニ教師ハ其教  
 授ノ設備ヲ爲スニ當リ體理性理ノ實事及ヒ原則ヲ  
 知ザル可カラス  
 教師ハ教導ニ用テ可キ材料ヲ明カニ知得ヌ可キヲ論  
 ス○凡ソ人類ノ萬物トハ互ニ相管係スル者ト雖モ地  
 上ノ身體ヲ養フ可キ食物ヲ産出スルノ豊富ナルハ  
 其心神ヲ教化ス可キ材料ヲ生セシムルノ豊富ナルニ

若カス然リ而シテ教師ハ其材料ヲ搜出シ以テ之ヲ修理  
 且ツ之ヲ以テ教導ノ目的ニ適應セシム可キ方法ヲ  
 知得セサル可カラサレハ若シ生徒ノ記念力辨理力想  
 像力良心及ヒ爾餘ハ心カヲ教化セント欲セハ教師ハ  
 必ズ之レカ適宜ノ方法ヲ選定シ得ルヲ要トス故ニ世  
 上間教師ハ一學科ヲ知リ得ル時ハ生徒ヲ教ユルヲ得  
 可キノ説ヲ唱フル者アリ是レ全ク誤謬ニ屬シ苟モ  
 教師タル者ハ當時ノ景況ニ於テ如何ナル學科ヲ教ユ  
 可キ又其學科中各部ノ順序ハ如何ニ爲ヌ可キ之  
 ヲ知ラサル可カラサル猶其教授ノ方法ヲ知ラサル可  
 カラサルカ如ク教師ノ學校ニ適應セル學科ヲ選定ス



ルニハ其教導ニ用ル可キ諸般ノ材料ヲ了知スルヲ要  
 トシ而シテ又教師ハ一學科中各部ノ接際ヲ詳カニ知得  
 スルニ非サレハ明理學ノ大則ニ從ヒ其學科ヲ講明ス  
 ル能ハサル可レ  
 教師ハ教授ノ方法ヲ詳カニ了知ス可キヲ論ス○教師  
 ハ縱令人類教導上ノ需要ト其需要ノ屢足セシムル方  
 法ト了知ルト雖モ亦之ヲ實際ニ適用スル方法ヲ知ラ  
 サル可カラス故ニ例ヘハ醫士ノ其藥ヲ施用スル方法  
 ヲ學ビ農夫ノ其土地ノ膏腴ヲシムル方法ヲ學ビ工  
 丁且省履衣服車馬ヲ製造スル方法ヲ學フカ如ク教師  
 モ亦其事業ヲ爲ス方法ヲ學ハサル可カラス然レモ其

方法ノ學識ハ容易ニ之ヲ得可キニ非サレハ夫ノ願學  
 ヲトシシ氏モ亦未ク知識ヲ得ル方法ノ理論ヲ全備ス  
 ルノ餘暇ヲ得ルニ及ハス而シテ又其知識ヲ授クル方法  
 ノ理論モ亦特ニ容易ナラサル可ク加フルニ教師ハ縱  
 令教授ヲ爲ス方法ノ大則ヲ知ルト雖モ之ヲ實際ニ適  
 用スルニ熟練スルハ亦頗ル一難事ト稱ス可シ蓋シ教  
 授ノ原ト活動セサル常慣ニ非ス又教師ハ機關者若ク  
 ハ引路者ト等シク常ニ機關法ノ大則ニ據テ其事業ヲ  
 行フ可キニ非サレハ其教授ノ方法ヲシテ生徒ノ意思  
 ヲ勸奨シ其氣力ヲ啓發シ其勉業心ヲ鼓舞スルニ適セ  
 シメサル可カラス然リ而シテ又教師タル者ノ常ニ注意



之サレ可カラサルハ教導ハ常ニ成長進歩ス可キ者ニ  
 以テ凝結淹滞スル者ニ非サルハ一事ニ在リトス  
 教師ハ學校ヲ管理統括スルニ巧ミナル可キヲ論ス○  
 學校ハ專斷不定ハ法則ヲ以テ之ヲ管理統括シ得可キ  
 非ス然リ而ノ凡ソ各人ノ性ハ其外ヨリ之ヲ見ル時  
 千變萬化恰モ一定ハ法ナキカ如シト雖モ其實ハ常  
 ニ同質ハ者タレハ甲ハ學校ヲ靖寧ナラシムル管理法  
 ハ乙ハ學校ニ於ケルモ亦之レト同一ハ効アル可ク故  
 ニ唯其同シカラサル者ハ少シク其適用ノ方法ヲ異ニ  
 スルニ在ルノミ此ニ由テ之ヲ觀レハ學校ヲ管理統括  
 スルニハ前カラ一種ハ法則ヲリ教師ノ之ヲ學ハサル

ル可カラサルハ猶船長ノ航海術ヲ學ハサル可カラス  
 鐵道造作人ノ土木工業ノ理ヲ學ハサル可カラス將帥  
 ノ軍ヲ統ルニ兵法ヲ學ハサル可カラナルカ如ク然レ  
 凡教師タル者ハ僅カニ唯其法則ノミヲ知り得ルヲ以  
 テ其教授ノ業ヲ成就シ得可キニ非サルハ亦必ス其法  
 則ヲ適用フルニ巧ミナルヲ要トス蓋シ世上自カラ事  
 務ヲ指揮シ以テ其長トナリ或ハ如何ニ困難ノ事ナル  
 モ敢テ之ヲ排除スルヲ術策ヲ失ハス或ハ將來ヲ洞觀  
 シ危殆ノ災禍ヲ預知シテ巧ミニ其豫備ヲ爲ス人ナキ  
 ニ非ス而メ此ノ如キハ則チ事ヲ處スルニ巧ミナル者  
 ト謂フ可ク然リ而ノ教師ノ如キハ殊ニ事ヲ處スルニ



巧能ナルヲ要トス、其強ハ、其弱ハ、其長ハ、其短ハ、其利ハ、其害ハ、其得可キヲ論ス。○教授ノ業ハ静息シテ動カサル虚假ノ裝飾ニ非ス常ニ活動シテ成長進歩スル者タレハ教師ハ勞動ヲ以テ常ニ其職ト爲シ總テ己レノ材能ヲ實際ノ用ニ供セシメ其諸般ノ力ヲ統制シ得ルヲ要トス故ニ教師タル者ハ其身體ヲ捷速ニ動行シ得ルヲ要トシ又其智力ハ敏銳其感情ハ英發ナルモ能ク之ヲ統制スルヲ要トシ又其意思ハ常ニ確定スルヲ要トシ又其詞ハ之ヲ發スルニ巧ミナルヲ要トシ又其智慧ノ蘊蓄ハ豊裕ニシテ何レノ時ヲ問ハス之ヲ用フルニ適スル

ヲ要トシ又其磨熟ハ一轉シテ其慣習トナルヲ要トシ又其目ハ學校中ノ各物ヲ見其耳ハ各音ヲ聞キ其心ハ人質ヲ辨別スルニ鋭ク以テ童ニ生徒ノ將ニ行ハントスル惡業ヲ預防スルニ力ヲ用フ亦其既ニ行ヒシ罪惡ヲ看出シ得ルヲ要トシ然リ而シテ凡ソ此等ノ諸事ヲ成就セント爲スルハ學校事業ニ用フル諸般ノ能力ヲ統制シ得ルヲ要トス

丙丁教師ノ生徒ニ對スル義務○生徒ノ教師ニ於ケル接際ハ子ノ其父母ニ於ケル下取テ異ナラサレハ教師ハ恰モ父母ニ代レル地位ヲ占ムル者トス故ニ凡ソ父母ノ其家ニ於テ其子ヲ處置スルヲ法律上ニ許ル所



ハ教師ノ學校ニ於テ生徒ヲ處置スルニモ亦之ヲ許ル  
 スカ故ニ父母ト教師ト二者ハ相共ニ教育ノ業ニ從事  
 レ互ニ之ヲ成就スルニ勉ム可シ然リ而テ凡ソ父母ノ  
 其子ニ於ケルハ其貴重ス可キ取テ之レニ過クル者ア  
 ラサレハ教師ハ生徒ノ其父母ヲ敬愛スル念ヲ減損レ  
 又ハ父母ノ所願ニ背反スル意ヲ生セシメサルニ注意  
 ス可ク又教師ハ縱令生徒ヲ裨益ス可キ諸般ノ方法ヲ  
 知ルト雖モ其父母ノ所願ニ逆ヒ強テ己レノ圖計ヲ成  
 就ス可カラズ唯其生徒ノ父母ニ其過ヲヲ説諭シ而テ  
 若シ一兩輩ノ極頑至陋ナル者アリ取テ其説諭ヲ聽カ  
 サル時ハ強テ其意ヲ曲ケシムルモ取テ不可ナルニ非

サレモ教師ノ説諭ニ從ハサル者ノ極メテ多キ時ノ如  
 キハ教師タル者縱令強テ己レノ意ヲ遂ケント欲スル  
 モ終ニ之ヲ能クシ得可キニ非ス故ニ教師ノ其生徒ニ  
 對スル義務ハ實際上ニ於テハ其父母又ハ後見人ニ對  
 スル接際ノ爲メ幾許カ之ヲ斟酌節制セサル可カラサ  
 ルナリ

又教師ノ生徒ニ對スル義務ハ其學校職員ニ對スル接  
 際ノ爲メ幾許カ之ヲ斟酌節制セサル可カラズ故ニ若  
 シ學校ニ教師ノ或ル事業ヲ爲ス可キ定メアル時ハ教  
 師タル者其契約ヲ踐行スルニ非サレハ其職ヲ辭ス可  
 ク此時ニ當テハ其生徒ノ爲メ至大ノ裨益アルト至大



ハ障害アルトク問至及ハス至大ニ弊益有テモ  
 教師ノ其生徒ニ對スル義務ハ上文ニ記スルカ如ク之  
 ヲ斟酌節制セサル可カラサレモ要スルニ其義務ハ總  
 テ生徒ノ需要ヲ應足セシムルニ在テ之ヲ大別スル左  
 六如ク  
 第一 身體上ノ需要  
 第二 智心上ノ需要  
 第三 趣味上ノ需要  
 第四 修身上ノ需要  
 生徒ノ身體上ノ需要ヲ論ム○學校ヲ建築スル場所ヲ  
 擇ム又ハ其建築法ヲ定ムルヲ教師ノ權限外ト爲スハ

間寡ナカラス然リ而シテ此等ノ諸事ハ生徒ノ健康便利  
 ヲ主トシ以テ之ヲ爲ス可キカ故ニ教師ハ成能可キ丈  
 其要旨ヲ其擔任者ニ説諭ス可ク且ツ縱令教師ノ自々  
 ヲ其學校ヲ建築スル場所ヲ擇ム又ハ其建築法ヲ定ム  
 ル能ハサル時ト雖モ後ニ之レカ不良ノ諸件ヲ看出レ  
 タル時ハ直ニ之ヲ其擔任ノ職責ニ告ケ以テ之ヲ修  
 治セシムルヲ得可ク故ニ教師ハ其學校ヲ清潔ニシ其  
 溫暖光明大氣ノ流通等ヲ適宜ニシ其生徒ニ爽快ナル  
 坐席ニ與ヘ身體運動ノ時期ヲ定メ之ヲ獎勵シテ運動  
 セシムルヲ得可シ  
 又教師ハ生徒中ニ寒熱ノ適度ニ過クル坐席ニ居ル者



ナキヤ又其運動ノ少ナキニ失シ或ハ其智心上ノ發動ノ  
 早キニ過クル者ナキヤ又其身體ノ健康ヲ害スル癖習  
 ニ浸深スル者ナキヤ此等ノ諸件ニ注意スルヲ其職務  
 上爲ス可ク故ニ之ヲ概言スル時ハ教師ハ生徒ヲ懇切  
 ニ看護スルハ猶父母ノ其子ヲ看護スルカ如クタル可  
 レ蓋シ方今開明ノ時期ニ及テハ教師ノ其生徒ヲ教導  
 スルニ就キ亦之レカ健康強壯快樂等ノ如キ身體上ノ  
 需要ヲ躰足セシムルニ其意ヲ留メサル可カラズ  
 生徒ノ智心上ノ需要ヲ論ス○第二章學習ノ部ニ學習  
 ノ主眼ハ知識教養志望實効ノ四者ニ在ルヲ論セシハ  
 實ニ其重要タルニ因ルカ故ニ教師ハ此智心上ノ需要

フ躰足スルニ勉メサル可カラズ然リ而メ此職務ノ重  
 要ナルハ方今各教師ノ皆識認スル所クレハ敢テ此ニ  
 辨論スルヲ待タスト雖モ兒童ノ智心上ノ需要ハ僅カ  
 ニ唯諸般ノ學科ヲ教ユルノミヲ以テ之ヲ飽カシムル  
 ニ足ルト謂フ可カラス凡ソ其心情ノ諸カヲ互ニ相調  
 和シ以テ之ヲ教養シ其心中ニ完全無瑕ノ人物ヲ想思  
 シ以テ之レニ模擬スルヲ欲セシメ兼テ又其氣力ヲ剛  
 強ニシ以テ難事ヲ排除シ及ヒ迷誤ヲ防ギ真理ヲ維持  
 シ以テ其生存ノ大眼目ニ達セシムル諸事ハ如キモ亦  
 皆此智心上ノ需要ヲ躰足セシムル中ニ在リトス  
 生徒ノ趣味上ノ需要ヲ論ス○我カ米國人ハ其心ニ雅



味ヲ知ル者少ナク故ニ家屋地所ヨリ園庭衣服等ニ至  
 ル迄之ヲ調理排列スルニ趣味ノ道ニ背ク者其多キニ  
 居リ各人皆其心ニ趣味ニ理ヲ知ラント欲スルヨリモ  
 其囊中ニ金ヲ充テシムルヲ欲スルノ意更ニ切ナリ是  
 レ我カ國ノ學校ニ於テ趣味ノ需要ヲ騰足セシムル爲  
 ニ幾許カ之レカ處分ヲ爲サ、ル可カラサル所以ナリ  
 又我カ國ノ學校生徒ハ其學友及ヒ來訪者ニ接スルニ  
 禮儀ヲ失シ、其風容ハ鄙野ヲ極バ、且ツ長老ニ對シ間不  
 敬ヲ爲シ、貧困ノ輩ヲ見テ之ヲ嘲ルノ弊アレハ教師ハ  
 カメテ此過失ヲ改良セサル可カラズ  
 又教師ハ上ノ諸件ニ注意ス可キハミナテス天造人工

ノ諸物及ヒ人ノ所業ニ就キ其美ヲ愛シテ之ヲ味ワフ  
 其生徒ニ教ユ可レ  
 生徒ノ修身上ノ需要ヲ論ス○人ヲシテ良善ナラシム  
 ルハ其學識ヲ得セシムルヨリ更ニ緊要タレハ心  
 教養ハ常ニ必ス智心ノ教養ト之ヲ共ニセサル可カラ  
 ス然ルニ若シ獨リ智心ノ教養ノミニ其カヲ用セ修身  
 ノ道ヲ教エサル時ハ却テ世害ヲ爲スニ至ル可ク故ニ  
 苟モ智心ノ教養ヲシテ世ノ幸福ヲ生セシメント欲ス  
 ルニハ必ス之レニ添フルニ修身ノ教ヲ以テス可ノ殊  
 ニ吾人ハ智心ハ幾許カ其脩身ノ道ノ爲メ影響ヲ生セ  
 シメラル、者タレハ凡ソ何事ヲ問ハズ吾人等至大ノ



悲痛ヲ覺ユ又ハ狂暴ハ性情ニ激動セラレ或ハ一箇ノ  
貴重ノ可キ業ヲ行ヒレ後ハ其意思ノ以前ニ異ナル猶  
外冠内亂ノ後ハ一國人民ノ意思ノ其以前ニ異ナルカ  
如シ  
斯ク教師ノ義務ハ生徒ノ脩身上ノ需要ヲ屢足セシム  
ルニ在ルヲ分明ニシテ前文既ニ之レカ大旨ヲ掲クレ  
ハ今復タ此ニ之ヲ贅セスト雖モ教師ハ又カメテ生徒  
ニ法教上ノ教ヲ授ク可キノ義務アリ蓋シ各生徒ハ互  
ニ皆其宗旨ヲ異ニスレハ主トシテ法教上ノ教ヲ授ク  
ルハ原下父母、日曜學校ノ教師、若クハ僧徒ノ職務タリ

ト雖モ凡ソ各學校ノ教師ハ皆幾許カ生徒ニ法教上ノ  
教ヲ授ケサル可カラズ  
教師若シ生徒ニ法教上ノ教ヲ授クルヲ得サレ時々蓋  
シ教師ノ全ク法教上ノ教ヲ授ケ得サレハ方今決シテ  
ナキ者タリ眞ニ耶穌教ノ道ヲ遵守スレ己レノ品行又  
以テ生徒ノ軌範ト爲シ以テ人ノ常ニ法教ノ義務ヲ踐  
行ス可キ的例ヲ示シ教師ヲ敬愛スル生徒ノ心ニ其影  
響ヲ及ホス可シ因テ想フニ若シ教師ノ眞ニ上帝ヲ敬  
愛スル時ハ亦生徒ヲシテ上帝ヲ敬愛スル情ヲ厚カシ  
シテ可ク又若シ教師ノ上帝ニ依頼スル時ハ亦生徒ヲ  
シテ上帝ニ依頼スル念ヲ深カラシム可ク故ニ若シ我



カ國學校ノ各教師皆現ニ此ノ如キ人物タルニ至テハ  
其幸福タル蓋レ幾許ソヤ  
凡ソ兒童ノ上帝ニ拜禮スルヲ見ル時ハ極メテ其愉快  
ナルヲ覺エ而メ又其上帝ノ保護ニ依頼シ堅ク之レ  
信從レテ已レノ祈願ノ爲メ父母兄弟姉妹ノ皆安康ト  
ル可キラ信スルヲ見ル時ハ實ニ之ヲ憐愛スルニ堪ヘ  
タリ故ニ父母教師ハ兒童ノ法教信奉ノ念ヲ教養レ以  
テ其萌芽ニ花實ヲ生セシム可ク決レテ之ヲ枯死セシ  
ム可カラス是レ世上ノ財寶中ニ就キ其貴重ス可キハ  
人ノ心神ニ若ク者ナキニ因ル  
丁 教師ノ其職業ニ對スル義務 〇此ニ今教授ノ業ノ

真ニ亦箇ノ職業ト稱スルニ足ル可キヤ否ヲ知ラント  
欲セハ須ラク先ツ一箇ノ職業ノ要件ヲ知り然ル後ニ  
教授ノ業ノ現ニ其要件ニ適應スルヤ否ヲ考究スル  
因テ今此ニ其要件ヲ掲グルニ(第一)職業ハ貴キ主眼ヲ  
有セサル可カラス(第二)職業ノ所爲ハ僅カニ唯機關ノ  
法ニ從フ可キノミナラス亦學術ノ法ニ從フ可ク(第三)  
職業ハ之ヲ爲ス人ニ學識アル可ク(第四)職業ハ之ヲ成  
就スルニ特別ノ設備ヲ要ス可ク(第五)職業ハ之ヲ爲サ  
ント欲スル人ノ適任ヲ試ムル委員アル可ク(第六)職業  
ハ之ヲ爲フ人ノ互ニ相親ミ以テ其心情ヲ同ウスルヲ  
要スレハ今左ニ教授ノ業ノ現ニ此等ノ要件ニ相適應



此の旨ヲ記載ス可レ  
教授ハ人ノ智力才能ヲ教養啟發シ以テカクテ之ヲ完  
全無瑕ノ者タラシメ之ヲレテ上帝ノ設ケタル地位  
堪ヘシムルヲ其主眼トス故ニ凡ソ世上ニ於テ貴重ス  
可キ主眼ノ之ニ過クル者ナレ  
學術トハ大理大則ヲ齊整排列セシ者ヲ云ヒ而ソ凡ソ  
人ノ一事ヲ爲スニ一定ノ大理大則ニ依ル時ハ即チ之  
ヲ學術上ノ法ニ從ヒ爲ス所ノ者トス可ク然リ而ソ教  
授ヲ爲スカ如キモ亦一定ノ法則アリ以テ其法則ヲ學  
ビ之ヲ適用レ得可キカ故ニ若シ教授ヲ以テ一箇ノ學  
術ニ非スト爲サハ凡ソ世上ニ一學術ノ存スル者ナカ

ル可シ蓋シ教授ヲ爲ス者ノ中間或ハ機關ノ法ニ依  
依リ以テ其事業ヲ爲ス者アレバ此ノ如キハ固ト敢テ  
完全ノ者ト爲ス可カラフ然レモ亦如何ナル職業ヲ問  
ハス此ノ如キ輩アルハ常ニ其免カレサル所タリ  
凡ソ如何ナル人ト雖モ己レノ知ラサル所ヲ人ニ教ユ  
ル能ハサルハ猶空虚ナル倉庫内ヨリ穀糧ヲ出フ能ハ  
サルカ如ク故ニ教師タル者ハ必ス學識ヲ具ヘ以テ諸  
般ノ學科ヲ教授セサル可カラフ若レ其身ノ學識ニ之  
レヤ時ハ生徒ヲレテ亦其學識ヲ博カラレムル能ハサ  
ル猶溪流ノ其源ノ水面ヨリ高ク騰昇スル能ハサルカ  
如レ



入若シ此學校通論ヲ通讀スル時ハ教師ノ其事業ヲ成  
 就スルニ必ス特別ノ設備ヲ要スルヲ悟リ以テ人ノ心  
 神ヲ教養スル事業ヲ成就スルハ夫ノ沓ヲ製シ家ヲ建  
 テ地ヲ耕スヨリ更ニ一層困難ナルヲ知ル可シ蓋シ如  
 何ナル職業ヲ問ハス全ク之ヲ成就スルニハ其設備ヲ  
 爲シ以テ練熟スルニ非サレハ其能クヌ可カラサルヤ  
 固ト分明ナレハ教授ノ業ノ如キハ殊ニ然リトス  
 然レハ又教授ノ業ニ就カント欲スルニ其任ニ適セサ  
 ル者ノ之レニ加ハルヲ防制スル爲ノ其適任ノ標度ヲ  
 定メ而シ其標度ヲ適用ス可キ委員ヲ設クルノ敢テ至  
 難ノ業ニ非サルハ法律醫術神學等ノ各業ト敢テ異ナ

ルナク且ツ教授ノ業ニ於ケル知識熟練ノ度ヲ量知ス  
 ルモ亦爾餘ノ諸業ニ於ケルヨリ敢テ難レトセス  
 又教授ノ業ヲ爾餘ノ職業ト分別スル線界ハ固ト判然  
 タルニ非サレハ教師ノ互ニ其職業ノ爲メ感情ヲ同ウ  
 スル徵憑モ亦甚著明ナラサレハ一旦教師ヲレテ真ニ  
 其同業者ノ何者タルヲ知ラレムルヲ得ハ凡ソ爾餘ノ  
 職業ノ所謂同業感情ナル者ヲ發セシムルノ切ナル敢  
 テ教授ノ業ニ若ク者ナカル可ク且ツ縱令之レニ及ハ  
 サルモ方今識見アル教師ノ互ニ相會レ以テ教授ノ事  
 務ヲ商議スルハ世上各教師ノ模範ト爲スニ足ル可レ  
 上ニ記スル事理ニ就キ之ヲ觀レハ教授ノ業ノ現ニ一



箇ノ職業タル敢テ疑ヲ容ル可キニ非サレハ教師ハ自  
 カテ其職業ニ對シ盡クヌ可キノ義務アリ因テ之ヲ左  
 ニ掲ケテ今論スルニ其ノ第一ニ依リ其職  
 業ヲ修飾ス可シ  
 第二ニ依リ其職業ヲ改良スル方法ヲ相獎  
 勵シ以テ其職業ヲ高カラシム可シ  
 第三ニ依リ其職業ヲ親合セシム可シ  
 第四ニ依リ其職業ヲ敬レ以テ其職

教師ハ己ニ其ノ練熟ト學識ニ因リ其職業ヲ修飾ス可キ  
 又論ス○往時ニ於ケル下等學校ノ幼年生徒ヲ教授セ  
 シ輩ハ之ヲ目シ學士識者ト稱ス可カラサル人多キニ  
 居ルカ故ニ學校教師ノ無識誇大ナルカ爲メ其嘲ヲ書  
 ニ遺スヲ常トシ而シ其中或ハ亦之ヒカ爲メ其冤枉ヲ  
 被リシ者間少ナカラスト雖モ顧ミルニ當時ニ在テハ  
 教師ノ學識大概皆其調嘲ヲ免カルニ能ハサル者タル  
 可ク然ル而シ又方今ト雖モ公立小學校ニ於テ教授ノ  
 業ニ就カント欲スル者ハ敢テ必スレモ學識ノ高度ニ  
 達スルヲ要セサル故ニ我カ國公立學校教師ハ如キハ  
 其學識ノ凡庸ナル者殊ニ居多ナリトス故ニ世上猶教



授の業ヲ以テ爾餘ノ學業ト同視スル者ハ特ニ稀ナリ  
 是レ亦敢テ異ムニ足ラス然レモ往昔ト今時トヲ問  
 ハス碩學鴻儒ノ常ニ羅列輩出スルハ要スルニ亦教授  
 ノ業ニ過カル者アラサレハ若シ各等學校ハ教師ヲ評  
 スルニ淺學寡識ハ一言ヲ以テスルハ固ト失當ヲ誣譏  
 カルヲ免カレスト雖モ各教師中概テ此類ノ人々居多  
 ナルヨリ之ヲ觀ル時ハ教授ノ業ニ之レカ爲メ漸ニ其  
 榮譽ヲ失フニ至ルノ恐アル敢テ亦疑テ容レズ  
 故ニ教師タル者苟モ己レノ業ノ貴重ナルヲ知リ以テ  
 之ヲ寶愛シ而メ其榮譽ヲ增益セント欲セハ必ス己レ  
 ノ知識ヲ擴メ兼テ同業者中ノ好學ノ念ヲ誘起シテ自

己ノ榮譽ヨリモ更ニ其業ノ榮譽ヲ思ヒ以テ教授ノ方  
 ニ練熟スルヲ勉ム可シ蓋シ縱令其地位ノ卑下ナル者  
 ト雖モ若シ能ク己レノ學識ヲ擴メ以テ其業ニ熟達ス  
 ルニ勉ムル時ハ後世ノ教師輩ヲシテ己レノ美名ヲ稱  
 揚セシムルニ至ルマ必然タリ  
 教師ハ己レノ品行ニ依リ其職業ヲ貴重ナラシム可キ  
 ヲ論ス○凡ソ職業ノ品質ハ之ヲ營スル者ノ品質ニ因  
 テ判断ス可ク故ニ營業者ノ地位ハ即チ其職業ノ地位  
 タレハ營業者ノ品行高尚ナル時ハ其職業ヲ高尚ナラ  
 シメ營業者ノ品行卑汚ナル時ハ其職業ヲ卑汚ナラシ  
 ムレハ如何ナル職業ヲ營スル人ト雖モ己レノ同業中



ニ聰明良善ノ者アレハ其名ヲ稱揚シ以テ世上ニ誇ル  
 ヲ得可ク若シ亦其同業中ニ膽志ナク或ハ廉恥ヲ知ラ  
 サル者アレハ其醜名ノ世ニ流傳スルヲ愧ツ可シ  
 ウエブストル氏ノ言ニ曰ク凡ソ人ハ皆己レノ職業ニ  
 對シ債ヲ負フト此言真ニ然リトス因テ其意ヲ申言ス  
 ルニ人ノ初メテ其職業ニ就クヤ其地位、友交、名譽、利益  
 各皆此ニ由リ以テ之ヲ其身ニ得レハ人ノ其職業ニ對  
 スルハ恰モ猶其身ニ債ヲ負フカ如ク故ニ苟モ己レノ  
 品行ヲ良善ナラシメサレハ到底其債ヲ償還スル能ハ  
 サル可ク然ルニ人ノ債ヲ其職業ニ負ヒ以テ之ヲ償還  
 セサルカ如キハ盜賊ト同一般タル者ト謂フ可シ

故ニ苟モ教師ノ職ニ居ル者ノ邪惡ノ行ヲ爲ス可カラ  
 サルハ世人ノ皆承認スル所ト雖モ教授ノ業ニ於タル  
 其地位ノ其營業者ノ地位ト相管スルハ爾餘ノ職業ノ  
 比ニ非ス故ニ既ニ上文ニ説示セシ如ク凡ソ教師タル  
 者ハ若シ自カラ人ト欲セハ人ノ軌範タラサル  
 可カラス生徒ヲレテ己レニ倣ハシメント欲セハ亦人  
 ノ軌範タラサル可カラス己レノ職業ヲ高尚ナラシメ  
 ント欲セハ亦人ノ軌範タラサル可カラサルナリ  
 教師ハ其職業ヲ改良スル方法ヲ相獎勵シ以テ其職業  
 ヲ高カラレム可キヲ論ス○教授ノ方ハ之ヲ改良スル  
 ヲ得可ク且ツ其改良ハ當今ノ要務タル世人一般ノ通



論タレハ敢テ此ヲ多言ヲ要セス因テ思フニ爾餘各箇ノ職業ヲ營スル輩ハ其職業ノ世人ニ貴重セラレ或ハ世人ヲ益スルニ准シ其身モ亦貴重セラレハ敢テ疑フ容ル可キニ非サレハ凡ソ世上各箇ノ職業ヲ營スル輩モ亦其職業ヲ改良スルニ其力ヲ盡クサル可カラズ蓋シ人ハ其友ニ因リ以テ己レノ善惡ヲ判知セラル者クレハ若シ教師中ニ無識失適ノ輩多キ時ハ其他ノ教師モ亦之レカ爲ノ己レノ譏辱ヲ招クニ至ル可レ方今教授ノ方ハ日ニ月ニ進歩シテ將來ノ進歩ハ更ニ速カナレ可キノ勢アレハ教師ハ間斷ナク其職業上ニ於ケル知識ヲ增益スルニ非サレハ方今世上ノ文運ト

並行進歩スル能ハサル可ク然ルニ若シ其舊ニ依ル時ハ其教授ノ方ハ恰モ模型ニ印セシ者ノ如ク竟ニ時勢ニ適セサルニ至ル可ク加フルニ此ノ如キ教師ハ世ヲ怨ミ争ヲ好ムノ癖ヲ生シ以テ其失錯ノ原因ノ己レニ在ルヲ悟ラス却テ之ヲ世人ノ惡計當時ノ弊害ニ歸スルニ至ル可レ此ニ今又教師タル者ノ職業ヲ學フ方法ヲ言フニ其中ノ最重要ナル者ハ師範學校教師社會學校訪問教授ノ事ヲ論スル書籍教授ノ事ヲ特記スル新聞紙等ニ在リ因テ更ニ之ヲ次ニ掲ク方今我カ米國ノ各邦ニ於テハ皆師範學校ヲ設ケ而シ



此學校ノ設ケハ之レニ抗論スル者頗多ト雖モ此  
學校ノ現ニ其實効ヲ顯スカ爲メ隨處皆之ヲ維持スル  
ヲ得レハ當時此設ケノ真ニ裨益アルハ之ヲ証スルニ  
足ルト雖モ顧ミルニ亦師範學校ノ設ケナキ地モ間適  
任ノ教師ヲ出タレ師範學校ノ設ケアル地モ必スレモ  
適任ノ教師ヲ出タス能ハサル敢テ稀ナラサルカ爲メ  
疑貳ノ心ヲ懷ク者亦少ナレトモ然レモ師範學校ヲ  
設ケルノ教師ヲ養成スルニ其缺ク可カラサルハ要ス  
ルニ猶醫學校、法律學校、法教學校ノ醫士、法律家、僧侶ノ  
爲メ缺ク可カラサルト敢テ異ナラサレハ教師タルヲ  
欲スル者ハ須テク師範學校ニ入學スヘク而シテ若シ其

制度ノ真ニ宜キヲ得ル時ハ此學校ハ實ニ教師タルヲ  
欲スル輩ノ需要ニ適應シ以テ教授ノ業ヲシテ整齊確  
定セレ一ノ職業タルヲ得セシムルニ其至當タル敢テ  
之レニ過クル者ナカル可レ  
又教師社會ノ設ケハ交際上、智心上、脩身上、職業上ノ諸  
事ニ付キ教師ヲシテ互ニ其大益ヲ生レ互ニ其初メテ  
相接レ初メテ其職業ノ道ヲ學習スルノ念ヲ發セシ  
ルノミナラス其互ニ教授ノ方法ヲ論究スル之レカ主  
眼ヲ達セシムルモ亦此設ケアルニ因レハ方今ハ其社  
會ノ數敢テ減ヤス次第ニ増益フルノ勢アリ因テ思フ  
ニ若シ此教師社會ノ制度ノ全ク整頓スル時ハ教師ヲ



レテ其教授ニ管スル意見ヲ陳ヘ以テ互ニ之ヲ比較レ、  
 教授ニ法ヲ改良シテ新理ノ實効ヲ量ル機會ヲ得セレ  
 又學校職務休憩ノ時間ヲレテ快樂田ラレテ且ツ間、教  
 師タル者ノ免カレ、能ハサル頑固自負ノ念情ヲ破リ、  
 教師ノ更ニ復々其職業ニ就クニ臨ミ之レカ氣カヲ増  
 レ其心神ヲ爽快ニシ、其業ニ管スル見識ヲ高カラシム  
 ルニ至ルヲ益アリ、又新理ノ實効ヲ量ル機會ヲ得セレ  
 又教師ハ他ノ學校ヲ訪問スルニ因リ其職業ニ管スル  
 學識ヲ増ス可シ故ニ己レノ職業ニ留意スル教師ハ皆  
 他ノ學校ヲ訪問シ之レカ爲メ幾許カ其裨益ヲ得サル  
 者ナク又之レカ爲メ幾許カ其學識ヲ擴メサル者ナシ

蓋シ人ノ事物ヲ聞見スルハ所謂百聞一見ニ若カサル  
 カ故ニ一曲他ノ學校ヲ訪問シ以テ其教授ノ模様ヲ見  
 ル時ハ其是非善惡ヲ判知スル特ニ較著ナルヲ得可ク  
 故ニ其處置ノ不良ナル學校ヲ訪フ時ハ現ニ其過チヲ  
 見テ自カラ之ヲ避クルヲ學ヒ又其處置ノ良善ナル學  
 校ヲ訪フ時ハ教授ノ新法ノ裨益ヲ目撃シ以テ之レニ  
 倣ノヲ思フ可シ

又方今ノ如キハ教授ノ事ヲ論スル書籍ノ世ニ乏レキ  
 ヲ敢テ口實ト爲ス可キニ非サレハ此ニ其要ヲ概言ス  
 ルニ凡ソ一箇ノ職業ニ管スル書ハ或ハ其職業ノ事柄  
 ヲ論スル者アリ或ハ其職業ノ方法ヲ論スル者アリト



雖其職業ノ方法ヲ論スル書ハ其數常ニ極メテ稀ナ  
リ然ルニ教授ノ業ニ至テハ凡ソ諸般ノ學科ヲ論スル  
書中一モ其事柄ヲ包含セサル者ナケレハ縱令數千萬  
卷ノ多キモ教師ノ裨益ヲ爲サハル者ナキ固ト言テ待  
タサレズ亦其方法ヲ論スル書モ英語ヲ以テスル者一  
百卷爾餘各國ノ語ヲ以テスル者更ニ一百卷ヲ集ムル  
ハ敢テ難キニ非サル可ク故ニ苟モ其職業ノ主眼ニ達  
セント欲スル教師ハ其職業ニ管スル書冊數卷ヲ貯藏  
セサル可カラズ  
又教師ハ現今教授ノ事業ノ景況如何ヲ知得セト欲  
セハ宜シク教授ノ事ヲ特記セル新聞紙ヲ讀ムヘク然

ル時ハ之レカ爲ノ貴重ス可キ實事ト重要ナル心得ノ  
諸件トヲ知ルヲ得テ且ツ其職業ニ留意スル念ヲ厚カ  
ラレハ可シ

教師ハ已レノ同業者ヲ敬ヒ其職業ヲ親合セシム可キ  
ヲ論ス○凡ソ教師タル者ノ世人ニ對シ敬愛ノ情ヲ發  
ス可キハ敢テ言ヲ待タサレズ其同業者ノ間ニ在テハ  
殊ニ其感情ヲ厚カラレシメテ敬愛信賴ノ念ヲ互ニ固  
カラシムルヲ特ニ天理ニ適スルカ故ニ方今學校ノ教  
師ハ其相敬愛スルノ情ヲ更ニ厚ウレテ互ニ其職業  
ヲ親合セシメ所謂同業感情ナル者ヲ益固カラシムル  
ヲ要トス因テ思フニ凡ソ人類ハ其性互ニ相交ハルヲ



好愛他人嘉納稱讚ノ聲ヲ聽キ以テ奮發ノ念カタ鼓  
 動及ビ者タレハ如何ニ至良ノ教師ト雖モ獨リ自カラ  
 勞動ニ敢テ一人ノ傍ヨリ之ヲ稱讚スル者ナク又敢テ  
 一人ノ之ヲ獎勵鼓動スル者ナク且以敢テ自カラ其地  
 位ヲ高カラシム可キ望ヲ懷カサズ時終合其氣力  
 挫折シ其精神ヲ魯鈍ナラシムル可ク而シテ又教  
 師ノ常ニ其生徒ニ侵煩セラシメ生徒ノ父母ニ謗議セラ  
 レ其事業ハ其劇ニ堪ヘス其配意ハ其苦ニ堪ヘス動モ  
 スレハ氣力ヲ挫折スル患アレハ之ヲ爾餘ノ人ニ比ス  
 傍ヨリ之ヲ慰安シテ其憂苦ヲ推察スル人アルヲ  
 必要トス故ニ若レ己レト其職業ヲ同ウシ己レト同一

困難ニ遭ヒ己レト同一ノ失意ニ感セン者ノ己レヲ  
 慰安シ己レノ憂苦ヲ推察スルヲ觀ル時ハ更ニ其氣力  
 ヲ挽回シ快然其職務ニ勉ムルヲ得可シ蓋シ生徒中敢  
 テ必スレモ教師ヲ敬愛スル者少ナキニ非ス又其父母  
 中ニモ敢テ必スレモ教師ノ勞ヲ謝スル者少ナキニ非  
 サレモ教師ハ己レト職業ヲ同ウスル者ノ恰モ兄弟ノ  
 如ク互ニ其感情ヲ同クシ其親交ヲ厚クスルヲ以テ第  
 一人愉快ト爲ス可シ又曰ハクハ嫌相ノ言ハシテ第  
 然ルニ凡ソ教師タル者ハ常ニ其同業者ニ對シ禮儀ノ  
 道ヲ盡クサス且ソ甚シキハ互ニ相猜忌嫉惡スルノ餘  
 以彼ノ榮譽ヲ害シ以テ己レノ榮譽ヲ増サシト欲スル







